

第【 3 】学年 教科【 英 語 】

1 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能5領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」）の言語活動や、これらの複数の領域を結びつけた統合的な言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 使用教科書・教材

- (1) 教科書 「Sunshine3」(開隆堂)
 (2) 副教材 「エイゴラボ3」(正進社)、

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
1学期 (4～7月)	Program1 Bentos Are Interesting! Program2 Good Night, Sleep Tight Program3 A Hot Sport Today Our Project1 記者会見を開こう Reading2 Faithful Elephants	<ul style="list-style-type: none"> ask [tell / want] ～ (人) to… It is ～ (for + 人) to… 〈主語 + be 動詞 + 形容詞 + that ～.〉 〈主語 + 動詞 + 疑問詞節〉 〈主語 + 動詞 + 人 + 疑問詞節〉 〈主語 + 動詞 + 人など + that ～.〉 〈主語 + 動詞 + 目的語 + 名詞〉 〈主語 + 動詞 + 目的語 + 形容詞〉 〈主語 + 動詞 + 目的語 + 動詞の原形〉 記者会見の概要 場面や登場人物の心情を表す表現
2学期 (8～12月)	Program4 Sign Languages, Not Just Gestures! Program5 The Story of Chocolate Program6 The Great Pacific Garbage Patch Our Project8 あなたの町を世界に PRしよう Program7 Is AI a Friend or an Enemy?	<ul style="list-style-type: none"> 現在分詞と過去分詞の後置修飾 関係代名詞主格 (who/which/that) 関係代名詞目的格 (which/that) 関係代名詞目的格の省略 仮定法過去 (be 動詞・一般動詞) (I wish + 主語 + 仮定法過去)
3学期 (1～3月)	Reading2 Malala's Voice for Future FR1 The Ig Nobel Prize FR2 Library Lion	<ul style="list-style-type: none"> 客観的な視点と主観的な意見が組み込まれた文章の構成 時間の経過や文章の流れを表すつなぎことば 場面や登場人物の心情を表す表現

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ask [tell / want] ～ (人) to…、It is ～ (for + 人) to…、〈主語 + be 動詞 + 形容詞 + that ～.〉などを活用することができる。 ディベートの流れや意見の主張の仕方の理解をもとに、書かれた英文を読みことができる。 〈主語 + 動詞 + 疑問詞節〉〈主語 + 動詞 + 人 + 疑問詞節〉〈主語 + 動詞 + 人など + that ～.〉などを活用することができる。 電車を乗りかえるときの道案内の表現を活用す 	定期考査 小テスト パフォーマンステスト ワークシート

	<p>ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈主語＋動詞＋目的語＋名詞〉〈主語＋動詞＋目的語＋形容詞〉〈主語＋動詞＋目的語＋動詞の原形〉などを活用することができる。 ・記者会見の概要を聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。" ・場面や登場人物の心情を表す表現を理解している。 ・買ったものを返品したり交換したりするときの表現を活用することができる。 ・現在分詞・過去分詞の後置修飾などを活用することができる。 ・学校紹介をしているホームページの内容や構成を理解し、内容を読み取る力を身につけている。 ・関係代名詞主格 (who/which/that) /関係代名詞目的格 (which/that)、関係代名詞目的格の省略などを活用することができる。 ・ディスカッションの方法を理解し、実践することができる。 ・仮定法過去 (be 動詞・一般動詞) 〈I wish＋主語＋仮定法過去〉を活用することができる。 ・長文の概要や要点を読み取る技能を身に付けている。 ・長文の概要や登場人物の心情を読み取る技能を身に付けている。 	
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの Program や Project のテーマに沿った英文を読んで、その概要、要点、登場人物の心情を捉えることができる。 ・英文から捉えた内容を簡単な語句や文を用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を伝えることができる。また、英文で表すことができる。 ・新しく学んだ英語表現を活用することができ、相手とやりとりができる。 	<p>定期考査 小テスト パフォーマンステスト ワークシート</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの Program や Project のテーマに沿った英文を読んで、その概要、要点、登場人物の心情を捉えようとしている。 ・英文から捉えた内容を簡単な語句や文を用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話そうとしている。また、英文で表そうとしている。 ・新しく学んだ英語表現を活用しようとしている。また、相手とやりとりをして伝え合おうとしている。 	<p>定期考査 小テスト パフォーマンステスト ワークシート 課題や作品への取り組み 授業中の様子</p>